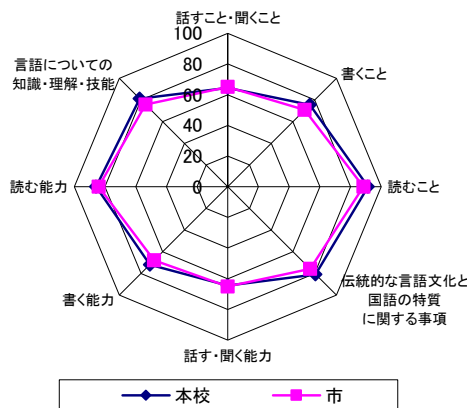


# 宇都宮市立瑞穂野北小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

	本年度			
	本校	市	参考値	
領域別	話すこと・聞くこと	64.4	65.0	62.9
	書くこと	75.6	70.9	71.3
	読むこと	91.4	88.4	87.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	80.8	75.8	75.3
観点別	話す・聞く能力	64.4	65.0	62.9
	書く能力	71.8	68.0	68.0
	読む能力	85.8	84.2	82.8
	言語についての知識・理解・技能	81.3	75.9	75.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>本校の平均正答率は64.4%で、市の平均正答率をやや下回った。</p> <p>○話し合いの内容を聞き取る問題で、話し手の意図を考えながら、話し合いの内容を聞くことについては市の正答率を上回っている。</p> <p>●司会者の役割を理解して、計画的に話し合いを進めるための手立てについては市の正答率を下回っている。</p>	<p>・授業や学校生活の中で、話す・聞く活動を多く取り入れ、話し方の工夫や司会の役割を考えながら、実際の話し合い活動をもとに、計画的に話し合いを進めていけるように指導していく。</p>
書くこと	<p>本校の平均正答率は75.6%で、市の平均正答率を上回った。</p> <p>○作文の問題では、出された条件に合わせて文章を書くことがよくできていた。4月全国学力調査の結果、課題が見られた領域であったが、指定された長さや段落構成で文章を書いたり、視写したりする機会を増やした成果であると考えられる。</p> <p>●記事を読んで意見文を書く問題では、資料の内容を読み取って文章に適切に書き表すことに課題が見られた。</p>	<p>・テーマや条件、目的や意図に合わせて、グラフや表をもとにしたりして、伝えたい内容を整理しながら書けるように、具体的な書き方を提示しながら文章表現力を高めていく。</p>
読むこと	<p>本校の平均正答率は91.4%で、市の平均正答率を上回った。学校課題で「読む力」を育てる取り組みを継続して行ってきた成果が見られる。</p> <p>○物語文や説明文で、登場人物の心情や文章の内容を読み取ることはよくできている。</p> <p>●文章の表現の工夫を読み取る問題に課題が見られた。</p>	<p>・引き続き、辞書を活用し、言葉や文字に関する日常的な指導を充実させる。また、司書教諭とも連携を図り、児童が様々な作品や文章に触れる機会を増やし、読書に親しむ態度の育成や読書活動の充実を図っていく。</p> <p>・文章の表現の工夫に関しては、具体的にどのような工夫をしているか、教材分を確認をしながら学習を進めるようにしていく。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>本校の平均正答率は80.8%で、市の平均正答率を上回った。</p> <p>○漢字を読むこと・国語辞典の使い方について回答する問題では、市の正答率を上回っている。</p> <p>●漢字を書く問題に関しては、平均正答率が上回っているものと下回っているものが混在しており、知識の定着が不十分である。特に「率いる」と書くことのできた児童の割合が36.7%と低かった。</p>	<p>・漢字に関しては、6学年配当漢字の定着を図るとともに、瑞穂野地域学校園の「漢字ミニマム」等を活用して、他学年配当漢字の復習も行っていく。</p>